

(本発表のお問い合わせ先)
文化財課
広報資料取扱主任: 大嶋 和則
電話 087-839-2660

法然寺の立体涅槃像群が国立博物館3館で巡回展示されます。

仏生山町に所在します法然寺の立体涅槃像群が国立博物館3館を巡回する特別展で展示されることになりました。

1 展示名称

特別展「法然と極楽浄土」

2 開催場所及び期間

東京国立博物館 令和6年4月16日(火)～令和6年6月9日(日)

京都国立博物館 令和6年10月8日(火)～令和6年12月1日(日)

九州国立博物館 令和7年10月7日(火)～令和7年11月30日(日)

3 展示の内容

令和6年(2024)に浄土宗開宗850年を迎えることを機に、法然による浄土宗の立教開宗から、弟子たちによる諸派の創設と教義の確立、徳川将軍家の帰依によって大きく発展を遂げるまでの、浄土宗850年におよぶ歴史を、全国の浄土宗諸寺院等が所蔵する国宝、重要文化財を含む貴重な名宝によってたどるもの。

展示の詳細は下記ホームページを御覧ください。

<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/honen2024-25/index.html>

4 立体涅槃像群の概要

法然寺の三仏堂に安置されている木造釈迦如来涅槃像は「嵯峨の立釈迦、讃岐の寝釈迦」と称されるほど有名な涅槃像で、高松藩初代藩主松平頼重(よりしげ)の正室である皓月院殿(こうげついでん)の菩提を弔うために作られたとされます。この涅槃像を中心に、空中には雲に乗る釈迦の母・摩耶夫人、周囲には嘆き悲しむ十大弟子や動物の彫像52類などが安置されています。これらの彫像群は「涅槃図」を立体的に表現したもので、全国でも類を見ないものです。

5 法然寺での涅槃像公開について

令和6年4月1日から釈迦涅槃像群の大部分が法然寺を離れることから、約2年間法然寺での涅槃像拝観はできません。



法然寺立体涅槃像群